

2016年度(平成28年度) 事業計画書

2016年(平成28年)11月1日から2017年(平成29年)10月31日まで

認定特定非営利活動法人 トラ・ゾウ保護基金

1 事業の成果

健全な野生の世界の象徴であるトラ、ゾウなどの野生生物の生息地において、実効的な保全対策を立案・実行する能力がある現地NGO等に対する支援を行ないます。

また、これを補完する事業として、野生生物製品の需要減少、日本国内外の野生生物およびその生息地の保全について、政策提言および普及啓発を行ないます。

チャリティー・イベントを実施し、活動への賛同者から寄付を集め、保全活動実施等の資金とします。

保全活動の計画、実施状況および成果について、生物学、法律などの専門家を交えて評価検討し、詳細を報告書あるいはホームページ等に公表します。

活動成果を、会報(年次報告書、通信)、ホームページ、メールマガジン、SNS等を通じて、会員・寄付者に報告、一般に普及します。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
生息地における野生生物保全活動事業	保護地域の指定・管理に必要な調査、保護地域管理としてのパトロール等の支援、地域住民の普及啓発等	通年	インド(マハラシュトラ州、アソム州) ケニア(ツァボ国立公園等) 日本(西表島)	5人	生息地で活動する森林局、国立公園のレンジャー等300人 西表島在住者2000人	12,763.0
生息地外における野生生物保全に関する教育・普及事業	野生生物製品の消費見直しなど生物多様性保全の普及啓発(会場イベント、情報発信)、政策提言	通年	首都圏 8回 東海/京阪神 1回 (会場イベント)、HP、SNS掲載等	40人	会場イベント参加者延べ1000人、HP、SNS閲覧等延べ10,000人	3,342.5
野生生物保全に関する政策提言事業	野生生物保全のあり方を検討する座談会の開催、報告書の作成 関係機関に対する意見書提出、意見陳述	年2回(座談会) 年3通(報告書) 意見書・要望書	事務局(座談会) ホームページ掲載等(報告書) 関係機関(意見書・要望書)	5人	HP、SNS閲覧延べ10,000人	4,090.0
チャリティー・イベントの開催事業	生息地における保全活動等に対する寄付を確保・維持するための会場イベント	年6回(会場イベント)	首都圏 5回 東海/京阪神 1回 (会場イベント)	25人	会場イベント参加者延べ300名	603.5
会報発行事業	年次報告書・通信の発行、ホームページ、SNSの運営	年8通(通信等) 通年(HP、SNS)	全国	40人	発行4,000部(通信等8通) 延べ10,000人(HP、SNS)	1,200.0